

学校関係者評価報告書

学校法人 麻生塾
麻生美容専門学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿.....	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	- 3 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法	- 3 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告.....	- 4 -
1. 重点項目について	- 4 -
2. 基準項目について	- 5 -

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生美容専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)
業界関係者	林 圭一	株式会社ダリア 福岡営業所 課長
高 校	永末 里志	博多女子高等学校 理事長・学校長
地域住民	亀岡 正成	舞鶴校区町内会連合会 副会長
卒業生	奥野 祐希	平成19年度 美容科 卒業
保護者	田中 章恵	美容科2年生 保護者

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時： 2020年 9月16日(水) 15:00 ~ 17:00

場 所： 麻生塾 福岡キャンパス8号館6階 861教室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係者委員の皆さまに、2019年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見をいただく。

5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2019年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

II. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

学校の取り組み状況

重点項目と取り組み状況

(1)学校の教育理念、教育目標（育成人材像）の明確化と周知

2019年は教育組織体制およびPDCAサイクルの改善後の初年度にあたり、学校独自の教育理念・教育目標を明確に定めた事で、3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)に沿った教育活動を実施した。コンテストや国家試験などの準備を含め、大きなことに挑む姿勢と、強いハートを養えるように、教職員全員で学生一人一人にサポートを行った。その効果として学生が自分の限界をきめつけず、どんな人間になっていきたいのかを考える力がついてきている。自然と学校のことを誇りと感じるようになっている。

(2)教育活動の見直し。教育方法および学習指導の改善活動の強化

時間制より単位制に移行し、授業をより効果的に展開するために授業時間を50分より90分に変更した。

授業科目に美容の世界において活躍する方のエピソードや、そのプロセス・生き様などについて考える「プロデュース論」「ブランディング論」取入れた。自分の可能性を信じ一歩踏み出す、学生自身が自主的に考え始めている。課題としては学生がここで学ぶ意味、楽しさ、成長の度合いを、本質的な部分から更に掘り下げる事が必要であり、引き続きこの活動を推進していく。

(3)募集活動の見直しと強化

募集活動の見直しでは、教職員・在校生が自信を持って伝えられる様、戦術目標4点（①世界基準の講師陣による質の高い教育 ②コンテスト実績 ③充実した学校生活 ④新校舎の施設・設備、環境）を明確に定めて活動をおこなった。その結果2019年度は定員確保が出来た。

評価委員からの意見

特記事項なし

今後の取り組み

長期的な視点で美容師の社会的使命や職業倫理を理解し、志をもって美容業界に貢献し続ける人材を育成出来る様、マネジメントしていくと共に学外に万人にも分かりやすい言葉・表現を用い、適切な情報公開をしていく。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、育成人材像

学校関係者評価結果： 適正

総括 / 課題

法人理念・教育理念・目的・育成人材像は、法人サイト及び本校のホームページ、パンフレット、学生便覧で公表している。非常勤講師には非常勤講師会で本校の育成方針等を伝えているが、全員が参加することができない為、資料を送付している。教育理念に基づき①人間性・人格の成長に関しては、麻生専門学校グループ全体で GCB（グローバルシティズンベーシック）教育プログラムを継続的に取り組んでいる。本校では、この内容の授業だけでなく『生きる力』を身に付けられるように、美容業界の具体的な事例などを挙げながら、自分自身の将来像を描くキャリア教育も実施している。引き続き、この教育を推進、深化させていくことが課題である。

②専門性に関しては『世界基準の技術教育』を掲げ、イギリス・ロンドンを中心に世界 58 カ国 626 店舗を展開する TONI&GUY と福岡県唯一の教育提携を行っており、基礎から応用までのカットプログラムを学生が学んでいる。最新のトレンドを学ぶ機会となっている。

評価委員からの意見

- ・学校の魅力を伝えていくということで S 評価と高評価をつけているが、美容室もブランディングをしていくうえで独自色を出していかなければならない。どのような方法でアプローチをしてきたのか。
⇒ 法人理念・教育理念・目的・育成人材像を解り易く伝えるため、本校の特徴である「世界基準の技術」、教育の質、教員の現場経験など他の専門学校との違いを、オープンキャンパス、ホームページ、パンフレット、イベント、SNS などにより発信している。

今後の取り組み

学外に向けても、本校の理念等 理解していただける発信を引き続きおこなう。

GCB 教育の推進していく為、教員研修や事例の共有を実施していく。

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適正

総括 / 課題

学校として取り組むべき施策や解決すべき課題を明確にし「事業計画」にまとめ、学内で方針発表を実施している。全員で目標を共有のうえ、学校運営をスタートさせている。「事業計画」の進捗状況や問題点は日々の活動で把握され、月次の教職員会議や法人本部が実施するモニタリングで報告し、必要により修正等をおこなう等、適切な意思決定がおこなわれている。

年度末に振り返りをおこない、次年度の「事業計画」に生かしており、人事面等の規定の整備も適切におこなわれている。

教職員全員がノートパソコンを利用しており、学生管理等は全てシステム化している。

課題としては、年度途中で事務職員の欠員が生じ、業務分担の変更で事務職員の業務量が短期的に増加した為、資質の向上を図る為の研修が十分に実施できなかった。

評価委員からの意見

特記事項なし

今後の取り組み

福岡キャンパスへの校舎移転に伴い、事務職員の法人本部への統合を実施し、役割の明確化と効率化を図り、各事務担当の業務調整を実施する。事務職員の資質の向上を図る為に必要な教育訓練を実施していく。

また、次年度は総学生数が増加する為、教育内容の充実を考えて教員の採用を検討している。

総括 / 課題

カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーについては、学生便覧及びホームページに記載している。ポリシーの見直しは2019年度におこなった。今後、2020年度の成果を振り返り、企業・業界団体の意見を取り入れ、ニーズに適切に対応しているか点検を実施し、ポリシーに従った人材育成ができていないか評価をおこなう。

本校では、美容師養成施設指定規則を遵守した上で、本校のポリシーを踏まえ、教育課程の編成・授業科目を開設している。カリキュラムの編成については、各学年のコーディネーターを中心に、業界ニーズ、教育課程編成委員会の意見及び教育目標をもとにカリキュラムを点検・評価し作成している。

課題としては、美容師国家試験合格率 100%を目標に技術・知識の習得と業界ニーズに合わせた授業計画（シラバス）を作成し、授業を実施しているが目標到達までは至っていない。

シラバス（授業評価含む）は、「学則」・「履修規程」に基づき、学生便覧の説明などオリエンテーションを通じて周知の徹底を行っている。学んだ専門的知識・技術をいかに現場で生かしていくかの視点で、インターンシップを1年次夏季休暇中に実施している。また、現役の美容師をお招きしての職業理解に関するセミナーを実施している。

授業方法の評価は教師アンケート（年2回）や外部有識者及び部門長による授業見学にて、教員の授業評価をおこなった。評価シートにて個別にフィードバックされ改善に取り組んでいる。また、有識者による研修も実施した。

課題は教育方法や学習指導方法の良い事例や研修内容の共有を促進する点である。

教員研修は TONI&GUY 及び株式会社 田谷と教育連携をしており、業界動向や最新情報など教育に反映させている。2019年度は TONI&GUY にて実務研修を3名受講し修了認定をされた。

評価委員からの意見

- ・企業説明会でも麻生美容の学生はしっかり教育されていると感じる。今後も在校生を礼儀正しく、社会的な勉強を含めて、教育活動を継続していただけるとよいと思う。
- ・時代の変化と共に、カリキュラムの変更などはされているのか。
⇒ファッションに関する授業の復活。2年生の選択コース授業もメイク・ネイル・エステからメイク・ネイル・アイに変更となった。アイリストを目指す学生が増えているという時代の変化に対応して変更した。
今後は新型コロナウイルスの影響も考慮し、オンライン授業実施を考え準備を進めている。
- ・リモート授業は一方向的でまだまだ不十分。双方向での授業展開が望ましい。

今後の取り組み

- ・美容師国家試験合格率 100%を目標に不合格者の情報開示をもとに問題点の把握と指導計画を作成し、PDCA サイクルを効果的に回すように努める。
- ・教育方法や学習指導方法の良い事例や研修内容を共有する仕組みづくりをおこなう。
- ・オンライン授業もこれから必要となる技術のひとつであるが、師友に学ぶなど自己成長にコミュニケーションが重要である。学校で学ぶ意義を、合わせて指導していく。
- ・時代の流れが早い中、5年後は習った技術は使わなくなることが予想される。自分で学ぶ力をつけさせていく。

総括 / 課題

目標設定している項目は年度開始時のキックオフ会議で前年度の結果を点検し、今年度の方針を踏まえ目標設定を実施している。設定した内容は教職員が共有している。

資格取得やコンテストに関しては、実施後、学科ごとに各担当者が報告書を作成の上、全教職員で共有している。教育活動および学生支援の改善を図る為、振り返りを行い、次年度のシラバス改善を加えている。

課題としては国家試験の新課題に対応した受験対策の見直しが必要である。

退学率の低減の取組みに関しては、本年度は結果を分析し、退学率の低減の改善に力を入れて活動を行った。クラス担任を2名体制で行い、より細かいサポート体制での学生指導を行った結果、退学者数の大幅減となった。

就職に関しては、月ごとの目標を設定しており、就職担当と担当教員で毎週実施している就職部会において、学生の就職状況と卒業生の在籍情報の共有を行っている。また、教務会議で状況を報告し、適宜計画を修正している。

評価委員からの意見

- ・卒業生の転職活動について具体的理由のリサーチが必要ではないか。

今後の取り組み

・国家試験に関する実施体制強化の為に、責任者が国家試験課目担当の講師全員より情報の聴取・進捗の共有の実施をおこない、理解不足の項目を把握し、指導を行う。

・スキルアップのための転職の場合は本校の教育理念と合致するが、そうでない場合はその理由等深く把握し教育活動を改善する必要がある。企業・サロン様より頂いた情報は把握しているが、記録が無くマネジメントサイクルが回っている状況にない。情報収集し得た情報は記録を作成し点検・評価を実施する。

総括 / 課題

学生が安定した学校生活を送るための体制を整えている。教務・事務・広報など部門を問わず、組織的な体制をとっており、必要に応じ、保護者への報告・連絡・相談・確認もおこなっている。教職員には話しづらいことや精神的・肉体的な問題に関しては、臨床心理士によるカウンセリング体制も実施している。退学者が減少していることは学生支援のマネジメントサイクルが機能していると考ええる。

学生の経済的側面に対する支援については募集要項に記載しているが、課題として社会問題となっている校納金の滞納に関して極めて少数であるが本校でも発生しており、課題解決に向けた対処策を学内でも検討・協議している。

また、卒業生への支援体制として、再就職時の就職斡旋の個別相談を実施している。年間2-3件ほど実績がある。

課外活動はコンテスト等へ参加する課外活動はおこなわれているが、課題として文化的活動やスポーツ活動については実施できていない点がある。

評価委員からの意見

- ・卒業できるか否か学生の将来に与える影響も大きいので、校納金の取り扱いについては慎重な対応と支援をお願いしたい。

今後の取り組み

- ・校納金の滞納に関して、状況確認と対応方法の手順に従い、共有することで対応策を保護者等と進める。
- ・福岡キャンパスでは課外活動のクラブがある為、合同して文化的活動やスポーツ活動の案内、促進をおこなう。

総括 / 課題

美容師養成施設指定規則および専修学校設置基準を遵守し、教育上必要な施設・設備を整備し、学校設備・教育備品・教具の一覧表及び点検表にて管理・安全・衛生を確保している。教育環境は適切に維持されている。

また、実習施設、インターンシップ、海外研修等については計画的に実施されている。教育関連備品等について過不足は無いものの、一部老朽化しているものも発生している。2020年度福岡キャンパスに移転の際に更新する。課題としては、図書コーナーの物品の紛失が稀に発生する場合がある。

評価委員からの意見

- ・福岡キャンパスの設備が整っていると子供が言っている。新型コロナウイルスの影響もあると思うが、他分野の学生とのコミュニケーションがとれるように、ぜひお願いしたい。

今後の取り組み

- ・図書に関しては学校名記載する等、管理を徹底し紛失防止策をおこなう。
- ・教育体制について、他校とのコラボレーションの授業は自分の持っている強みを出し合ってチームとして協力する力を育成できる。計画性をもって学校として進めていく。

総括 / 課題

本校の募集要項やホームページにアドミッション・ポリシーを明示し広く公開しており、学生募集は専属の担当者を配置し、教職員全員で「学生募集及び入学者選抜に関するガイドライン」やマニュアルを共有し、学生の受け入れ方針に従い、公正かつ適切に運用が出来ている。

入学希望者や保護者に対して、オープンキャンパスや説明会にて教育成果等、詳細な数値を含め説明を実施している。学費や就職面に対しては、個別の説明会を実施し丁寧に説明が出来ている。さらに、内容の理解を促進する学科独自のリーフレット等も作成し、入学等の問い合わせに関しては随時対応できる体制を整えている。学生納付金等は妥当なものとなるように毎年見直しを実施している。

評価委員からの意見

- ・募集に関しては、中学生・高校生も見ている「グーグル」のロコミ評価を点検項目として評価を上げていく努力をしていくのも良いのではないかと。

今後の取り組み

「グーグル」のロコミ評価を研究し、点検項目として改善に役立てる様、検討していく。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適正

総括 / 課題

本部内の経理グループと連携して予算管理を適切に行っている。学校の財務面の管理運営については、教育投資額、採用計画、研修費等ヒアリングを実施した上で、予算計画を策定し、月次における予算決算管理および昨年度対比による分析をおこなっている。分析の中で重要な差異が生じた場合等には原因の特定や問題点の把握等を行い、適切に対応している。

内部及び外部会計監査も適切に実施され、内容はフィードバックされている。

評価委員からの意見

特記事項なし

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適正

総括 / 課題

学校教育法・専修学校設置基準、美容養成施設指定規則等の関係法規や内部規程を遵守して学校運営を行っている。教務室内に『理容師・美容師関係法令通知集』を閲覧できる環境を整えている。関係法規に基づく学内諸規程を適切に運用し、学校が保有する個人情報 は目的以外に一切使用していない。また、専門的な知識が必要な場合は麻生塾内の法務グループと連携して法令遵守を行っている。教職員の関係法規に関する教育は、麻生塾で実施される研修に参加している。

また、ハラスメントなどが発生した場合の相談窓口を設けており、適切に運営されている。

課題としては、理容師・美容師関係法令に関しては担当者が把握している状況であり、教職員全員が理解するに至っていない。

評価委員からの意見

特記事項なし

今後の取り組み

理容師・美容師関係法令について担当者以外の育成を実施する。

基準10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適正

総括 / 課題

自己点検・評価、学校関係者評価は継続的に実施している。内部質保証は学校運営において点検・改善項目の検討・改善計画などを定期的におこなう事でマネジメントの向上を推進している。

点検結果は全てホームページ上に情報公開をおこなっている。

課題としては課題の共有は全員で実施されるが、評価するまでは管理者・委員中心に点検しており、全員が参加した活動までは至っていない点と改善状況の進捗確認を明確にする点である

評価委員からの意見

特記事項なし

今後の取り組み

- ・自己点検・評価を実施する経過報告を教職員全員に共有し、課題認識とマネジメントシステムの更なる向上を進める。
- ・教務会議にて改善点の報告を定期的に行う。

基準11 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適正

総括 / 課題

公共的な機関として、社会貢献・地域貢献を毎年実施している。学生のボランティア活動を奨励し、高齢者福祉施設への訪問を中心にヘアアレンジやメイク等の活動を実施している。また、毎朝学生と職員による大名・赤坂地区における清掃活動も長年継続活動しており、近隣の皆様からも高い評価をいただいている。課題としては、学生の自発的な参加の推進が必要である。

評価委員からの意見

移転に伴い、周辺の交通事情の理由で学校周辺の外掃を取り止めているとの事だが、継続することを検討してほしい。

今後の取り組み

学校周辺の外掃は路環境などで危険もあり、継続ができていない為。学生の自主的な参加を基本に近隣の公園清掃など他の方法を検討する。

総括 / 課題

留学生の受け入れについては、麻生塾全体で受入を積極的に行なっている。在校生にとっても社会のグローバル化に対する体験ができる貴重な機会であり、また、コミュニケーション能力の向上に資するところ大なるものがあると考えている。

また、留学生へのサポート業務を行う部署が麻生塾内にあり、過去の実績でも語学サポートを行い、無事に進級・卒業・美容師免許も取得している。

海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に運用できている。業界的にも、海外のお客様をもてなす“接客”や“コミュニケーション”の基本となる語学を学ぶことが重要になっている。新入生全員を対象に麻生専門学校グループでおこなっている長期・短期の海外留学制度の学内での説明会の実施し、参加者には事前語学勉強会の実施などサポートを実施している。課題としては、日本人在校生の留学生に対する理解度も深めていく必要がある。

評価委員からの意見

- ・外国人美容師の就労を東京では試験的に実施している。今後、法改正が行われて認められれば、更に需要が増えると考えられる。

今後の取り組み

- ・麻生塾内に設置してある『国際交流センター』とも連携し、留学生に対する相談体制をさらに強化する。加えて、在校生の留学生に対する理解度を高める意識的なアプローチも検討・実施する。また、教職員の留学に関する知識向上の施策の検討を実施する。
- ・外国人美容師の就労の特区情報を収集し、留学生の採用状況等を踏まえ、プログラム開発を検討する。